



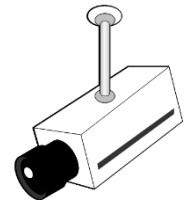
## 防犯カメラより防犯の効果がある方法とは —「佐渡おもてなし観光バスに手を振る会」募集?の巻—

佐渡市立河崎小学校長 濱田 晴明



世界各地で起きているテロや大量殺人などの凶悪犯罪。

「治安の良い国」として名高い日本。「治安の良い国」世界第7位というデータもある日本。そんな治安の良い日本でも、国内各地で起きている犯罪。最近では、千葉県松戸市の小学生女子児童の殺害、近い所で、佐渡市内でも、相川博物館の金塊のレプリカ盗難など。



犯罪を防ぐために、近年では「防犯カメラ」が様々な場所に設置されています。防犯には効果があります。常に見られているようで、気分が良いものではありませんが、防犯ですのしかたがありません。

そんな中、防犯カメラの設置より、防犯効果が大きい方法があるということです。その方法とは、近所の人同士の**あいさつ**です。

犯罪者が、下見の時や実際に犯罪を起こそうとしたと時に、犯行をあきらめた理由で最も多い理由は以下の通りでした。

○人に**あいさつ**をされたから。

○声を掛けられたことで『顔を見られたかもしれない。』と思ったから。

犯罪者は声を掛けられることを極度に恐れ、犯行を思いとどまるケースが多くあります。犯罪者は、近所づきあいが悪く、人間関係が希薄な地域を好みます。下見のときに、住民同士の**あいさつ**を見れば、犯意にブレーキがかかります。

以前は、「不審者かもしれないので・何をされるかわからないので、知らない人には**あいさつ**をしない。」と、言われてきたことが多かったです。しかし、最近は、知らない人であっても、近隣では**あいさつ**を交わす方が、防犯に役立つという考えが広まってきています。

**あいさつ**は「礼儀」として、また、「コミュニケーション」を図るために行います。河崎小学校では**あいさつ**を身に付けさせるために、毎週、月・水・金曜日の朝、**あいさつ運動**をしています。学校の前を通る車の人たちにも、元気に**あいさつ**をしています。地域からは元気をもらっていると喜ばれています。**あいさつ**は、「礼儀」「コミュニケーション」だけでなく、「**防犯**」としても大きな意味があることを、今後、子どもにも指導していきます。

さて、私事ですが、「佐渡おもてなし観光バスに手を振る会」の代表をしています。この会の目的は、観光客に手を振って**あいさつ**をすることにより、観光客へ感謝を伝え、互いがすがすがしい気持ちになることをねらっています。この目的に、今後、佐渡の「**防犯**」を付け加えることにしました。なお、会員は、現在私1人です。会則として、代表に知らせなくても入退会は自由、会費は0円。会の趣旨に賛同してくださる方を募集しています。

「**防犯**」の基本は、近隣の人との**あいさつ**です。いつでもはじめられる防犯の簡単な方法です。設備も予算も工事も不要です。（「佐渡おもてなし観光バスに手を振る会」に入会してほしいとは言いませんが、）みなさん、地域で・家庭で元気の良い**あいさつ**を交わし、地域の防犯力を高めていきませんか。

